

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|------------------------------|-----|--------|-----|
| ○事業所名 | 小田原ひかり・Lino | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 11月 8日 ~ 2025年 11月 15日 | | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 31名 | (回答者数) | 30名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 11月 8日 ~ 2025年 11月 15日 | | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7名 | (回答者数) | 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年11月17日 | | | |

○分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 非常時の対応における46~54番 苦情・怪我等迅速に対応している | 毎月の避難訓練・机上学習を実施 地域の情報を周知 | 避難経路の新たな設置 訓練の継続（利用者・職員） 緊急時の対応を繰り返し趣味レーションする。 (個人・全体) |
| 2 | 保護者への説明等41番 苦情・怪我等迅速に対応している | その場での報告とともに怪我等は保護者に状況・処置等を報告する。 苦情等は当日対応が原則 | 怪我等の防止 苦情の要因背景の考察・解決を話し合う。 保護者との可能な限りの面談 聞き取れない・伝えきれない・伝えられない内容をアンケート等で表出して頂けるような機会 |
| 3 | 意思疎通のための配慮44番 | 前もっての言葉・写真・絵 行動等での提示 提示したときの利用者の意思の尊重 保護者への報告 | もっとわかりやすいツールはないか探求 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|---|
| 1 | 保護者との連携ないおいて34番家族との対応力向上における家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング） 家族等で参観できる研修・情報提供に付いて課題・実施に向けた改善が必要 | 以前ペアレントトレーニングの研修を県指導のもと職員全体で行ったが移行実施されていない。 職員が展開できる習熟ができない。 | この問題を解決するために職員が専門的研修を受けペアトレーニング講習会を実施する準備をおこなう。 市・他の法人から出る情報を保護者につたえる。 |
| 2 | 地域開かれた事業運営45番を計画的に図っていない。 | 今年度は近隣の地域催事に参加した。直前に予定をしつて対応した。 | 地域で実施される催事はおおよそ時期がきまっているため参加協力できるように普段からの情報収集をおこなう。 地域の夏祭り（参加）ハロウイン（近隣の子どもたちへのイベント）を年間計画にいれる。スペースの関係・個人情報等で施設内招待企画は実施・検討困難か。 |
| 3 | 計画に沿った支援14番 振り返り21番 地域保健・医療27番 | 14番～話し合いがたりないのでないのではないか。 支援内容の方向性に異論があつてもいえたないのでないか 事務処理等の時間でギリギリで振り返りの時間がとれていないので 地域保健・医療の情報は保護者を通しているため | 会議の中でケースミーティング時間を優先して確保する。 ファシリテーターの変更 事務処理しながら話をする。 より詳細に医療に関して保護者に聞くために日頃様子を毎回つたえる。 |